

## 論文の内容の要旨

### 1 申請者

防衛大学校 大澤 傑

### 2 論文題目

個人支配体制の比較政治—クライアントリズムと体制変動—

### 3 論文の内容の要旨

独裁体制の下位類型の一つである個人支配体制の崩壊の成否やその型式に法則性はあるのか。この原初的な疑問が本研究の主題である。体制崩壊の成否は独裁体制の危機に対する強度を表し、崩壊の型式は独裁体制の脆弱性がどの部門に潜むかを表す。本研究は個人支配体制が危機に直面した時にどのように崩壊するのか、あるいは崩壊しないのかという視点から、独裁体制の統治と体制変動の関係性を明らかにすることを目的としている。

個人支配体制は支配者に圧倒的な権力が集中する特異性から理論化が避けられてきた政治体制である。しかしながら、北朝鮮やシリアに代表されるように同体制を採る国家は現存する。そのため、本研究は事例比較により個人支配体制の体制変動を読み解くための中範囲の理論を構築するとともに、政治体制論と体制変動論の橋梁を築くことを目指す。また、個人支配体制の支配者が体制を維持するための鍵概念であるクライアントリズムについても理論的な研究が蓄積されているとは言い難いため、本研究をとおしてその理論化にも貢献する。

個人支配体制とは支配者への権力の集中が、支配者が構築するパトロン＝クライアントネットワークによって維持される体制である。そのため、本研究では支配者が個人支配体制におけるパトロン＝クライアントネットワークをどのように作り上げ、それが体制崩壊の成否と型式にどのような影響を与えるか事例比較分析を行った。分析対象とするのは体制変動の主要なアクターである軍部と政党（および政党を通じた社会）であり、事例として扱うのは、支配者が政党を通じて社会に対して構築したネットワークの形状から下位類型化した9事例（フィリピン、インドネシア、ニカラグア、パラグアイ、ルーマニア、スペイン、北朝鮮、イラン、サウジアラビア）である。これらの事例における結果の差異がどのようにもたらされたのかクライアントリズムの視点から明らかにした。

本論では、先行研究をもとに、①政治エリート（軍部と政党エリート）は、自組織に張り巡らされたパトロン＝クライアントネットワークが機能不全に陥ると反体制化する。そのとき、懐柔資源を受けられないアクターは準忠誠化し、他に反体制勢力として一体性があるアクターが存在する場合、そのアクターにバンドワゴンする。②社会に対する政党を通じたパトロン＝クライアントネットワークの様態は体制崩壊の型式を規定する。③野党を認める体制において、選挙は社会へのパトロン＝クライアントネットワークをモニタリングする効果があるため、社会からの突き上げを予防する。という三仮説を構築し、それ

らを検証することにより、各事例の体制崩壊の差異がどのように生じているかを分析した。

分析の結果、仮説①については条件付きで支持された。軍部が準忠誠であっても反体制派が軍部の中枢を占め、かつ政党内に浸透している場合、軍事クーデタを起こすことが分かった。このことから、政党と軍部の関係性を考察することの重要性が示唆された。仮説②についても条件付きで支持された。政党システムは目安としてのパトロン＝クライアントネットワークの形状として捉えられるが、社会における反対勢力を含めたより厳密なパトロン＝クライアントネットワークを読み解くためには、政党だけでなくコーポラティズムに基づいた考察をする必要性が示唆された。仮説③については、事例によって異なる結果が出た。個人支配体制においては、選挙が反対勢力のフォーカルポイントとなる可能性や、そもそも政党が社会勢力を代表しない場合があることがわかった。

また、分析を通じて、①体制の危機に際しても軍部に対する懐柔を維持することは可能であるが、それによって社会的格差が生まれ、社会が体制に不満を持つこと、②社会を広く包摂するパトロン＝クライアントネットワークを構築すると政治社会内に反体制派が醸成され、その逆では社会内に強い反体制派が生まれること、③開発によって体制を安定化させる個人支配体制は、それによって社会経済構造を変動してしまうことにより、自らが築いたパトロン＝クライアントネットワークを弱めてしまうことが明らかとなった。

以上から、本研究の結論は、体制の崩壊の成否と型式を分かちものは、体制の危機と軍部と政党、および政党を通じた社会に構築されたパトロン＝クライアントネットワークの様態の組み合わせであるということである。政治体制論と体制変動論の橋梁を築くことを目指した本研究であるが、分析を通じてわかったことは、個人支配体制という政治体制そのものが直接的に体制変動に影響を与えるわけではないが、個人支配体制の特徴であるクライアントリズムの様態が体制変動に影響を与えるということであった。

#### 4 キーワード

「個人支配体制」，「体制変動」，「クライアントリズム」，「政軍関係」，「政党」